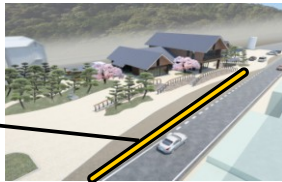


(単位:千円)

事業名	企業誘致推進事業		充実	補正予算額	財 源 内 訳											
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源							
ビジョン基本施策	観光を基軸とした産業振興	ビジョン重点戦略	—	20,000		10,000			10,000							
補正理由	宮津市企業立地拡充促進条例に基づく適用事業者の指定を行ったことによるもの。			(参考)補正後予算額	特定財源の内訳											
				23,400	府	市町村未来づくり交付金		10,000								
目的	人口の減少に歯止めをかけるため、企業の立地及び事業規模の拡充を促進し、雇用機会の拡大と地域経済の活性化を図る。			背景	経緯											
期待される効果	<p>■立地促進奨励金 20,000千円</p> <p>○株式会社文珠荘 (文珠荘)</p> <table border="1"> <tr> <td>操業開始年月日</td> <td>平成26年7月26日 (適用事業者の指定 平成26年4月14日)</td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td>余暇利用施設 (宿泊の用に供する施設) 新規正規従業員5人</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>約200,000千円 (立地促進奨励金 20,000千円)</td> </tr> </table> <p><参考> (条例適用事業者)</p> <p>○株式会社セフティライフ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護付有料老人ホーム「エリシオン天橋立」(H22.10指定) <p>○社会福祉法人成相山青嵐荘</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症高齢者グループホーム「せいらん」(H23.12指定) 			操業開始年月日						平成26年7月26日 (適用事業者の指定 平成26年4月14日)	事業内容	余暇利用施設 (宿泊の用に供する施設) 新規正規従業員5人	事業費	約200,000千円 (立地促進奨励金 20,000千円)	・雇用の拡大と地域経済の活性化	
操業開始年月日	平成26年7月26日 (適用事業者の指定 平成26年4月14日)															
事業内容	余暇利用施設 (宿泊の用に供する施設) 新規正規従業員5人															
事業費	約200,000千円 (立地促進奨励金 20,000千円)															
事業概要	<p>【みやづビジョン2011以外の計画】</p> <table border="1"> <tr> <td>年度策定</td> <td>計画期間</td> <td>～</td> </tr> <tr> <td>年度策定</td> <td>計画期間</td> <td>～</td> </tr> <tr> <td>年度策定</td> <td>計画期間</td> <td>～</td> </tr> </table> <p>【市民参加の状況】</p> <p>【先進性】</p>			年度策定	計画期間	～	年度策定	計画期間	～	年度策定	計画期間	～	担当室・係	自立循環型経済社会推進室 産業創出係	TEL	45-1608
				年度策定	計画期間	～										
				年度策定	計画期間	～										
				年度策定	計画期間	～										

(単位:千円)

事業名	海の京都事業拠点整備関連事業		充実	補正予算額	財 源 内 訳					
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
ビジョン 基本施策	観光を基軸とした産業振興	ビジョン 重点戦略	—	20,500				20,500	0	
補正理由	府道「宮津養父線」の道路区域の一部を市が受託施工することで、京都府と協議が整ったため。			(参考)補正後予算額	諸	総務費受託事業収入			20,500	
				190,500						
目 的 目 標	「海の京都」構想における宮津市の戦略拠点である「天橋立」をさらに魅力ある観光地としていく。			背 景 経 緯	府北部をとりまく交通基盤の整備に合わせ、北部地域を全国有数の観光地にするため、「海の京都」構想のもと、府・市町・民間が一体となり、H27をターゲットイヤーとして魅力ある観光まちづくりを進めている。					
事業概要	■天橋立駅前広場等改修工事の追加（府受託事業） 20,500千円 ○工事費 20,000千円 府道「宮津養父線」の駅前区間における歩道整備等 L=115.2m W=3.0m ○事務費 500千円 ※補正後事業費190,500千円			期待される効果 【みやびビジョン2011以外の計画】 H25 年度策定 海の京都天橋立地区マスタープラン H25 年度策定 「海の京都～丹後・中丹魅力ある観光まちづくり」構想 H25 年度策定 観光革命アクションプログラム 【市民参加の状況】 【先進性】	 受託事業箇所					
	担当室・係				企画総務室 企画係		TEL	45-1601		

(単位:千円)

事業名	宮津市ターミナルセンター整備事業		新規	補正予算額	財 源 内 訳				
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
ビジョン 基本施策	観光を基軸とした産業振興	ビジョン 重点戦略	—	20,000	19,900		100		0
補正理由	K T R 宮津線ターミナルセンターの環境整備を促進するため。 (国の「地域活性化・効果実感臨時交付金(がんばる地域交付金)」の活用)			(参考)補正後予算額	国	地域活性化・効果実感臨時交付金		19,900	
				20,000	市債	過疎対策事業債		100	
目 的 ・ 目 標	「海の京都」構想における観光誘客や上下分離導入によるK T Rの再生が進む中で、K T R 宮津線ターミナルセンター(人の行き交う玄関口)の利用環境の向上を図る。			背 景 ・ 経 緯	府北部をとりまく交通基盤の整備に合わせ、北部地域を全国有数の観光地にするため、「海の京都」構想のもと、府・市町・民間が一体となり、H27をターゲットイヤーとして魅力ある観光まちづくりを進めている。				
事業概要	■宮津市ターミナルセンター整備事業 20,000千円 ○宮津線ターミナルセンターのトイレについて、便器洋式化、床面リニューアル、照明のLED化に加え、次の整備を実施 ・宮津駅 レイアウト含め全面リニューアル ・丹後由良駅 トイレ建屋外観の塗装、入口ドアの更新 ・栗田駅 身障者トイレの改修 ・岩滝口駅 換気扇の移設			期 待 さ れ る 効 果					
				【みやびビジョン2011以外の計画】					
				年度策定	計	～			
				年度策定	画	～			
				年度策定	期	～			
				【市民参加の状況】					
				・岩滝口駅では、公募により愛称を「阿蘇の入江」駅として命名。吉津婦人会による「ふれあいほっとさろん」を開催。(第2日曜日) ・栗田駅では、海洋高校生による「魚魚駅舎～栗田～」(トステーション)が常設展示。また、地元の婦人団体「若嫁会」による「幸せぷりん」が開設。					
			【先進性】						
			担当室・係	企画総務室 企画係		TEL	45-1601		

【丹後由良駅トイレ外観】



(単位:千円)

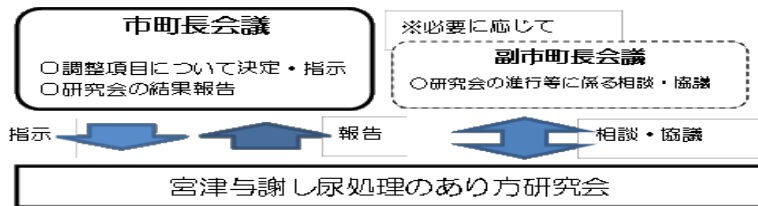
事業名	元気な営農推進事業	充実	補正予算額	財 源 内 訳				
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
ビジョン 基本施策	観光を基軸とした産業振興	ビジョン 重点戦略	579		579			0
補正理由	集落営農組織が新たに整備する機械導入等を支援するため。 (京都府の需要対応型特産物生産支援事業補助金の内示によるもの。)		(参考)補正後予算額	特定財源の内訳				
			1,699	府	農業振興事業費補助金		579	
目 的 目 標	中山間地域等の小規模・高齢農家が集落ぐるみで行う需要対応型特産物の生産が継続できる農業生産体制の構築につなげる。		背 景 経 緯	国の水田農業政策見直しにより、米の直接支払交付金の減額措置等がなされる中、食品加工業者などの実需者との結びつきを強め、小規模・高齢農家が集落ぐるみで行う特産物生産を通じて、国施策の変動に影響されない地域農業の実現を目指すため、平成26年度から京都府において「需要対応型特産物生産支援事業」が実施されている。				
事業概要	■実需者との契約に基づく農業生産を継続する地域営農組織等への支援 579千円 需要対応型特産物生産支援事業（府補助制度を活用）		期 待 さ れ る 効 果	<ul style="list-style-type: none"> ・集落営農組織の経営基盤強化 ・地域特産物の生産拡大 				
	(1) 経営継続条件整備支援 実需者との契約に基づき、地域営農組織等が生産物を安定供給していく上で必要となる農業用機械の整備に支援する。 対象者：杉末農家組合（杉末・集落営農組織） 内容：籾摺機1式の整備 事業費：658,800円 補助金：329,000円（補助率1/2）		【みやびビジョン2011以外の計画】					
			年度策定	計	画	期	間	～
			年度策定					～
	(2) 地域特産物産地づくり支援 実需者との契約に基づき、地域営農組織等が継続的な産地づくりのために必要となる種苗費等に支援する。 対象者：日ヶ谷地域会議特産物振興グループ 内容：唐辛子種苗及び肥料等の購入、技術研修 事業費：500,000円 補助金：250,000円（補助率1/2）		【市民参加の状況】					
			日ヶ谷地区においては、日ヶ谷地域会議の発足（H19年度）以来、地域活性化のための実践的活動グループの組織化により、農産加工や地域特産物の振興を行っている。					
			【先進性】					
		担当室・係	産業振興室 農林水産係			TEL	45-1626	

(単位:千円)

事業名	魅力ある商いのまちづくり支援事業		充実	補正予算額	財 源 内 訳				
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
ビジョン 基本施策	観光を基軸とした産業振興	ビジョン 重点戦略	—	1,472					1,472
補正理由	宮津本町商店街振興組合の街路灯等の更新を支援するため。 (商店街が国の商店街まちづくり事業の採択を受けて行うもの。)			(参考)補正後予算額					
				16,472					
目 的 ・ 目 標	住民及び来街者が安心して歩行できる魅力ある商店街づくりを支援する。			背 景 ・ 経 緯	長引く不況や商店街離れに歯止めがかからない状況にある。 また、本町商店街の街路灯は、設置(平成4年)から22年が経過しており、腐食や傾き等老朽化が進行、安全性に問題が生じている。 (放送設備(平成7年)についても20年を迎えようとしている。)				
事業概要	■本町商店街街路灯等の更新支援 1,472千円			期 待 さ れ る 効 果	・住民及び来街者の安心・安全性の向上 ・来街者の増による商店街の活性化				
	○実施主体：宮津本町商店街振興組合			【みやびビジョン2011以外の計画】					
	○事業内容								
	・LED街路灯への更新	18基							
	・LED街路灯への改修(照明部分のみ)	5基							
	・放送設備(スピーカー)の更新	21個							
	○総事業費 13,252千円			【市民参加の状況】					
	○補助金額 1,472千円(補助率1/9)								
	総事業費		補 助 金			実施主体負担			
		国	府	市					
13,252千円	8,180千円	1,472千円	1,472千円	2,128千円					
【先進性】									
担当室・係	産業振興室 産業推進係			TEL	45-1663				

(単位:千円)

事業名	新し尿処理施設調査研究事業 (宮津与謝し尿処理のあり方研究会負担金)		新規	補正予算額	財 源 内 訳				
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
ビジョン 基本施策	環境保全と生活環境の向上	ビジョン 重点戦略	—	2,000		1,000			1,000
補正理由	宮津与謝1市2町共同研究の合意が得られたため。			(参考)補正後予算額	府 市町村未来づくり交付金		1,000		
				2,000					
目 的 目 標	宮津与謝地域のし尿処理施設のあり方を調査、研究し、し尿処理施設の整備 方途を決定する判断材料を平成26年度末を目途に整える。			背 景 経 緯	<ul style="list-style-type: none"> メタン発酵施設の導入検討を行う中、次のような状況の変化があった。 <ul style="list-style-type: none"> ▽宮津湾流域下水道へのし尿等の希釈投入について、協議条件が緩和された。 ▽宮津与謝環境組合の新ごみ処理施設の処理方式が、生ごみ等を乾式メタン発酵でエネルギー回収するバイオマス利活用施設に決定した。 宮津与謝地域のし尿処理施設は、2施設とも昭和39年に供用を開始し、約半世紀に及ぶ運転を継続しており、更新計画を定める時期が到来している。 				
事業概要	■調査・検討体制 「宮津与謝し尿処理のあり方研究会」の設置 ※下図参照 ○構成員 1市2町の環境、衛生、下水道所管室・課を中心に構成 京都府(オブザーバー) ○事務局 宮津市 ○予算額 6,000千円(1市2町各2,000千円)			期 待 さ れ る 効 果	環境負荷、経済性等を考慮した効率的で効果的な宮津与謝地域のし尿等の処理のあり方を探ることができる。				
	■調査・検討内容 ○宮津与謝地域のし尿等の処理のあり方を調査・検討 * 1市2町におけるし尿等処理量の将来予測 * 将来予測に基づき、最適な処理方法のあり方を総合的に検討 (し尿処理施設等の更新・大規模改修、流域下水道へのし尿投入など)			【みやづビジョン2011以外の計画】					
				H21 年度策定 宮津市バイオマスタウン構想		計 画 期 間	～		
				年度策定		～			
				年度策定		～			
			【市民参加の状況】						
			【先進性】						
			担当室・係		自立循環型経済社会推進室 環境政策係	TEL	45-1609		



(単位:千円)

事業名	景観まちづくり推進事業		充実	補正予算額	財 源 内 訳				
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
ビジョン基本施策	環境保全と生活環境の向上	ビジョン重点戦略	—	7,176	3,588				3,588
補正理由	景観まちづくり事業補助金制度の利用件数増加によるもの。 (国の街なみ環境整備事業(社会資本整備総合交付金)の内示に伴うもの。)			(参考)補正後予算額	国	街なみ環境事業費補助金			3,588
				17,176					
目的・目標	天橋立をはじめとする宮津市特有の美しい自然と悠久の歴史に育まれた景観を守り育て後世に伝えていくとともに、個性的で魅力あるまちづくりを促進するため、行政・市民・事業者が協力して街なみ整備を進めるもの。			背景・経緯	H20.11 天橋立周辺地域景観計画施行 H21.6 宮津市まち景観形成協議会設立 H24.3 宮津市景観まちづくり提言書の提出 H25.8 景観まちづくりマスタープラン策定 H26.2 宮津・天橋立景観計画策定 H26.4 宮津市景観条例及び景観計画施行 H26.8 文珠リゾート 締結(界限景観まちづくり協定第1号)				
事業概要	■ 街なみ環境整備事業 7,176千円 景観まちづくり事業補助金(街なみ修景助成事業)の対象事業の追加(当初5件、今回追加5件、計10件)			期待される効果	魅力ある街なみ景観を形成することにより、まちなか観光の推進及び居住空間としての快適さの向上を図ることができる。				
	<p>○ 平成25年度に景観まちづくりマスタープランを策定し、市の景観まちづくりにおける基本方針を示すとともに、景観条例の制定や宮津・天橋立景観計画の策定により住民主導の景観まちづくり活動への支援制度を創設。</p> <p>○ こうした動きを受け、本年8月に文珠地区において、第1号となる「界限景観まちづくり協定」が締結されるなど、住民主導の景観まちづくり活動が活発化しており、景観まちづくり事業補助金の活用件数増加が見込まれるもの。</p> <p><参考></p> <p>○景観まちづくり事業補助金(街なみ修景助成事業)</p> <p>界限景観まちづくり協定に基づく住民主導による街なみ修景を支援するもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象主体 界限景観まちづくり協定を締結した建物等の所有者 対象事業 住宅等の新築、改築など建物外観に係る修景や建築設備、外構修景、空家撤去など 補助率 2/3(補助限度額1,500千円) 			【みやづビジョン2011以外の計画】			計画期間	～	
				H22 年度策定	文珠地区・新浜、魚屋地区まちづくり計画			H23～H27	
				H23 年度策定	社会資本総合整備計画		～		
				H24 年度策定	西部地区・府中地区景観まちづくり計画		～		
				H25 年度策定	景観まちづくりマスタープラン及び宮津・天橋立景観計画		～		
			【市民参加の状況】			○宮津市街地(西部地区地域会議・宮津まちづくり研究会・宮津中部地区自治連合協議会)○府中地区(府中をよくする地域会議)○文珠地区(文珠まちづくり委員会)○東部地区○上宮津地区○橋北地区			
			【先進性】						
			担当室・係	建設室 まち景観係		TEL	45-1630		

(単位:千円)

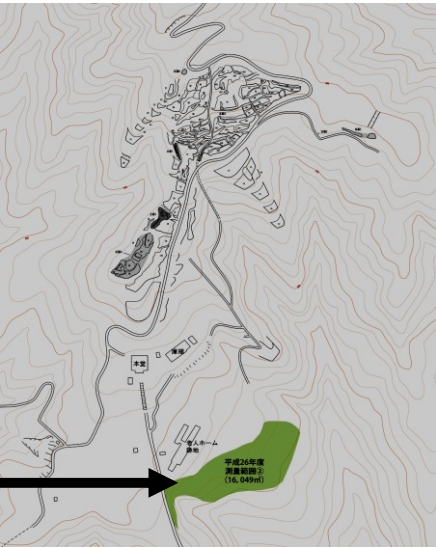
事業名	いじめ防止対策推進事業		新規	補正予算額	財 源 内 訳				
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
ビジョン 基本施策	教育の充実と人材育成	ビジョン 重点戦略	—	227					227
補正理由	いじめの防止に向けた連絡会議及び委員会を平成26年11月に設置するため。			(参考)補正後予算額					
				227					
目 的 目 標	社会全体でいじめ問題を克服していくため、宮津市いじめ問題対策連絡会議を設置し、関係機関及び団体の連携を図るとともに、教育委員会の附属機関として宮津市いじめ防止対策推進委員会を、市長の附属機関として宮津市いじめ調査委員会を設置し、いじめ防止等のための対策を推進する。			背 景 経 緯	○H25.9：いじめ防止対策推進法の施行 ○H26.6：宮津市いじめ防止基本方針の策定 ○H26.9：宮津市いじめ防止対策推進委員会及び宮津市いじめ調査委員会条例の提案（9月定例会）				
事業概要	■いじめの防止に向けた連絡会議及び委員会の運営費 227千円			期 待 さ れ る 効 果	・いじめの未然防止 ・いじめの早期発見 ・重大事態への対処				
		宮津市いじめ問題対策 連絡会議	宮津市いじめ防止対策 推進委員会【教育委員 会附属機関】	宮津市いじめ調査委員 会【市長附属機関】	【みやづビジョン2011以外の計画】				
	役割	いじめの防止等に関係 する機関及び団体が連 携し、情報交換、啓発 活動等のいじめ防止等 の対策の推進を図る。	いじめ防止等の対策に 関する調査審議、いじ めによる重大事態等に 係る事実関係の調査を 行う。	いじめ防止対策推進委 員会から報告された重 大事態等の調査結果の 再調査及び対応につい て提言を行う。	H26 年度策定 学校教育の重点	計 画 期 間	H26～H26		
	組織	20人以上 学識経験者、関係団体・ 関係行政機関の職員等	5人 弁護士、医師、臨床心理 士、学識経験者	5人 弁護士、医師、臨床心理 士、学識経験者	H26 年度策定 宮津市いじめ防止基本方針 年度策定		～ ～		
					【市民参加の状況】				
					宮津市いじめ問題対策連絡会議への市民参加				
				【先進性】					
				担当室・係	教育委員会事務局総括室 市民室	学校教育係 人権啓発係	TEL	45-1607 45-1615	

※いじめ防止対策推進法

【基本理念】いじめの防止等のための対策は、国、地方公共団体、学校、地域住民、家庭その他の関係者の連携の下、いじめの問題を克服することを目指して行われなければならない。

【地方公共団体の責務】地方公共団体は、基本理念にのっとり、いじめの防止等のための対策について、国と協力しつつ、当該地域の状況に応じた施策を策定し、及び実施する責務を有する。

(単位:千円)

事業名	市内遺跡発掘調査事業		充実	補正予算額	財 源 内 訳				
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
ビジョン 基本施策	教育の充実と人材育成	ビジョン 重点戦略	—	1,000	500	250			250
補正理由	成相寺境内の史跡指定に向けた追加調査を実施するため。 (国・府の文化財補助金の内示に伴うもの。)			(参考)補正後予算額	国	国宝重要文化財等保存整備費補助金		500	
				4,500	府	文化財緊急保存費補助金		250	
目 的 目 標	重要遺跡の保護及び活用に向け、平成21年度から調査を進めている成相寺旧境内について、測量調査の範囲を拡大し、史跡指定を目指すもの。			背 景 経 緯	成相寺は京都府北部を代表する山岳寺院で、その旧境内は現在の境内の背後に広がる寺院跡で、これを保護及び活用していくとして、遺跡範囲を解明し測量図を整備するため、平成21年度から調査を進めている。 今般、国・府から、現境内地も含めて、史跡指定の可能性が示されている。				
事業概要	■成相寺旧境内に係る追加調査 1,000千円 ○地形測量追加面積 約16,000㎡ (今年度の測量面積は、当初予算による測量面積44,800㎡と合算し、約60,800㎡となる見込み)			期 待 さ れ る 効 果	遺跡の適切な保存対策を図るとともに、歴史スポットの形成等、地域資源を活かしたまちづくりの検討資料を得る。				
	※「史跡」とは文化財の種類の一つで、遺跡に該当するものの中から歴史上・学術上価値が高いと認められ、保護が必要なものについて国が指定を行うもの。現在、京都府内で89件が指定されており、宮津市内では丹後国分寺跡のみ。			【みやびビジョン2011以外の計画】					
				年度策定	計 画 期 間	～			
				年度策定	計 画 期 間	～			
				【市民参加の状況】					
				府中をよくする地域会議等の地元団体が中心となり、成相寺や周辺古道を活用したイベント(千日参り等)を実施するなど、市とも連携しながら、地域の歴史資源を活かしたまちづくりを実践している。					
成相寺追加地形測量箇所 約16,000㎡			【先進性】						
			担当室・係	教育委員会事務局総括室 社会教育係	TEL	45-1642			

(単位:千円)

事業名	子どもの遊び場環境整備事業		新規	補正予算額	財 源 内 訳				
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
ビジョン 基本施策	健康増進と福祉の推進	ビジョン 重点戦略	—	8,000	7,590		300		110
補正理由	児童遊園の環境整備を促進するため。 (国の「地域活性化・効果実感臨時交付金(がんばる地域交付金)」の活用)			(参考)補正後予算額	国	地域活性化・効果実感臨時交付金		7,590	
				8,000	市債	公園整備事業債		300	
目 的 目 標	児童遊園の遊具や設備等の環境整備を行うことにより、安心・安全な遊び場を確保し、児童の健康の増進、心身の発達を養う。			背 景 経 緯	利用率の高い児童遊園について一定遊具の更新を実施したが、経年劣化による遊具の更新や環境整備が必要な状態にある。				
事業概要	■八幡児童遊園の設備整備 7,100千円 ○フェンス改修及び自転車駐輪場の新設 既存ベンチ撤去(5基)と東屋の新設(1基) 低年齢児童向け遊具(すべり台)の更新			期 待 さ れ る 効 果	・安心、安全な遊び場の確保 ・遊びを通じた児童の健康の増進、心身の発達 ・児童遊園における憩いの場の創出				
	■府中ふれあい広場の遊具更新 900千円 ○老朽化したベンチ等の遊具への更新			【みやづビジョン2011以外の計画】					
				年度策定	計 画	～			
				年度策定	期 間	～			
				年度策定	期 間	～			
	【更新遊具のイメージ】			【市民参加の状況】					
									
			【先進性】						
			担当室・係	健康福祉室 児童福祉係		TEL	45-1621		

(単位:千円)

事業名	予防接種事業	充実	補正予算額	財 源 内 訳					
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
ビジョン 基本施策	健康増進と福祉の推進	ビジョン 重点戦略	10,000				1,000	9,000	
補正理由	改正予防接種法施行令への対応と任意接種（障害者インフルエンザ）に対する補助制度を導入するため。		(参考)補正後予算額	諸	京都府後期高齢者医療制度特別対策事業費補助金			1,000	
目的 目標	伝染の恐れがある疾病の発病や重症化、まん延を防止・抑制し、公衆衛生の向上を図る。		52,500						
事業概要	<p>■予防接種事業 補正額10,000千円</p> <p>○障害者インフルエンザ予防接種補助制度の創設 補助金855千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者 身体障害者手帳（1,2級）又は療育手帳（A,B）所持者 ※接種見込み 250人程度 ・接種回数 1回/年（13歳未満の者は2回） ・自己負担 1,000円(1,000円を超える接種費用を市補助金として医療機関に支払) <p>○平成26年10月より定期接種となるワクチン接種への対応 接種委託料8,936千円</p> <p>①水痘ワクチン予防接種（A類疾病）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者 生後12月～36月の間にある者（H26に限り60月まで対象） ※接種見込み 370人程度 ・接種回数 2回（36～60月の者については1回） ・自己負担 無料 <p>②成人用肺炎球菌ワクチン予防接種（B類疾病）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者 各年度に65歳、70歳、75歳、80歳、……、95歳、100歳となる者 ※接種見込み 780人程度 ※H26に限り101歳以上も対象、H31以降は対象者を再検討 ・接種回数 1回 ・自己負担 3,000円（生活保護世帯は無料） <p>②' 京都府後期高齢者医療広域連合の補助金の活用 後期高齢者医療保険加入者が接種する成人用肺炎球菌予防接種に係る自己負担を1,000円に軽減することで接種率の向上を図る。</p>		背景 経緯	<p>○障害者インフルエンザ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H13に、り患した場合に重症化しやすい高齢者についてインフルエンザ予防接種が定期接種に追加されたが、障害者も同等として相当の補助をする旨の要望がある。 ○水痘、成人用肺炎球菌 ・予防接種法施行令の改正により、H26.10から定期接種の対象となった。 ○京都府後期高齢者医療制度特別対策事業費補助金の活用 ・京都府後期高齢者医療制度の不均一保険料が、府内均一の保険料となった。（低い保険料としていた特例期間が終了） ・これに伴い、京都府後期高齢者医療広域連合において、「医療資源が限られた地域の保健事業」に充当するとして補助制度が創設された。（これを活用した負担軽減制度を実施） 					
	期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・疾病の発病予防及び重症化、まん延を防止し、市民の健康を保持 							
	【みやびビジョン2011以外の計画】				計画期間				
	年度策定					～			
	年度策定					～			
	【市民参加の状況】								
【先進性】									
担当室・係	健康福祉室 市民室	保健医療係 国保年金係	TEL	45-1624 45-1616					

(単位:千円)

事業名	『命の里』生活環境整備事業		充実	補正予算額	財 源 内 訳																																													
					国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源																																									
ビジョン基本施策	暮らしの基盤の整備	ビジョン重点戦略	—	32,500		21,667	8,100		2,733																																									
補正理由	養老・由良地区の生活環境基盤の整備を追加するため。 (府の「共に育む「命の里」事業費補助金」の追加内示に伴うもの。)			(参考)補正後予算額	特定財源の内訳																																													
				52,500	府市債	共に育む「命の里」事業費補助金 道路整備事業債		21,667 8,100																																										
目的目標	地域が策定する地域再生計画に基づき、生活環境基盤（水路、道路等）の整備を図り、元気な里づくりを推進する。 (複数集落で地域連携組織が設立され、住民主体による農村地域の活性化に取り組む地区において、生活環境基盤の整備を図るもの。)			背景経緯	養老地区、由良地区においては、平成25年度から各地区の地域会議で作成した地域再生計画に基づき、地域会議だよりの発行や耕作放棄地対策の検討、先進地視察など、地域活性化に向けた取組を進めており、この動きに合わせ、本年度から生活環境基盤の整備を実施するもの。																																													
事業概要	■ 過疎化・高齢化が著しい集落の再生に向け、生活環境基盤の整備を行う。			期待される効果	過疎化・高齢化が著しく進んでいる集落の再生に向け生活環境基盤の充実を図ることで、元気な里づくりにつなげる。																																													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>地区名</th> <th>当初</th> <th>9月補正</th> <th>主な工種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">養老地区</td> <td>長江中波見線</td> <td>長江中波見線(廃工)</td> <td>舗装工</td> </tr> <tr> <td>中地線、犀谷線</td> <td>浦館線</td> <td>側溝工</td> </tr> <tr> <td>小山線、里道</td> <td>奥後線等</td> <td>ブロック積工</td> </tr> <tr> <td>地元施工</td> <td></td> <td>擁壁工</td> </tr> <tr> <td></td> <td>事業費 20,000千円</td> <td>事業費 10,000千円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※長江中波見線：現在施工中の府地すべり事業との関係で、次年度施工としたもの。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地区名</th> <th>9月補正</th> <th>主な工種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>由良地区</td> <td>脇東線、宮本地区内水路、由良下石浦線 浜野路松原線、上石浦西線、地元施行等</td> <td>側溝工 水路工 舗装工</td> </tr> <tr> <td></td> <td>事業費 22,500千円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※共に育む「命の里」事業 府民生活を支える「命の里」である農村地域を守り育てていくため、後継者不足や農林地の荒廃など地域の抱える課題を集中的かつ総合的に解決するもの。</p> <p>【市内の取組状況】 世屋地区：平成21年～平成25年度 日ヶ谷地区：平成21年～平成25年度 上宮津地区：平成22年～平成24年度 日置地区：平成23年～平成25年度 養老地区：平成25年～平成27年度 由良地区：平成25年～平成27年度</p>				地区名	当初	9月補正	主な工種	養老地区	長江中波見線	長江中波見線(廃工)	舗装工	中地線、犀谷線	浦館線	側溝工	小山線、里道	奥後線等	ブロック積工	地元施工		擁壁工		事業費 20,000千円	事業費 10,000千円		地区名	9月補正	主な工種	由良地区	脇東線、宮本地区内水路、由良下石浦線 浜野路松原線、上石浦西線、地元施行等	側溝工 水路工 舗装工		事業費 22,500千円		【みやづビジョン2011以外の計画】	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度策定</th> <th>計画期間</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年度策定</td> <td></td> <td>～</td> </tr> <tr> <td>年度策定</td> <td></td> <td>～</td> </tr> <tr> <td>年度策定</td> <td></td> <td>～</td> </tr> </tbody> </table>				年度策定	計画期間		年度策定		～	年度策定		～	年度策定	
地区名	当初	9月補正	主な工種																																															
養老地区	長江中波見線	長江中波見線(廃工)	舗装工																																															
	中地線、犀谷線	浦館線	側溝工																																															
	小山線、里道	奥後線等	ブロック積工																																															
	地元施工		擁壁工																																															
	事業費 20,000千円	事業費 10,000千円																																																
地区名	9月補正	主な工種																																																
由良地区	脇東線、宮本地区内水路、由良下石浦線 浜野路松原線、上石浦西線、地元施行等	側溝工 水路工 舗装工																																																
	事業費 22,500千円																																																	
年度策定	計画期間																																																	
年度策定		～																																																
年度策定		～																																																
年度策定		～																																																
【市民参加の状況】					地域連携による話し合いにより、元気な里づくりへの課題解決に取り組んでいる。																																													
【先進性】																																																		
担当室・係				建設室 土木係		TEL		45-1607																																										

(単位:千円)

事業名	都市下水路整備事業		新規	補正予算額	財 源 内 訳					
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
ビジョン 基本施策	暮らしの基盤の整備	ビジョン 重点戦略	—	5,000					5,000	
補正理由	由良地区の内水対策を進めていく上での基本方針となる雨水排水基本計画を策定するため。			(参考)補正後予算額						
				5,000						
目 的 ・ 目 標	由良地区の内水対策及び公衆衛生の改善を進めていくもの。			背 景 ・ 経 緯	<ul style="list-style-type: none"> ・H23由良地区排水路調査実施(排水系統の現況調査) ・H25由良川河川整備計画策定 (由良河口について、輪中提、宅地嵩上げの計画) 					
事業概要	<p>■ 由良地区内水対策（雨水排水基本計画の策定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 浸水被害の軽減及び公衆衛生の改善に向けた由良下水路等の整備方針となる基本計画を策定するもの。 ○ 計画策定に当たっては、平成23年に実施した地区内の排水路調査の結果を基に、地元意見及び今後国の由良川河川整備計画に基づき進められる河口部の整備との整合を図りながら進めるものとする。 <p>[雨水排水基本計画の概要]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象地区：脇、宮本、浜野路、港地区の約64ヘクタール ・浸水多発箇所の対策検討 ・排水系統の見直し検討(由良川のみではなく、海への分流の可能性) ・由良川放流方法の検討等 <p><参考></p> <ul style="list-style-type: none"> ○H23由良地区排水路調査の概要 <ul style="list-style-type: none"> ・水路の位置、流水方向（高さ）、構造物の種別等を確認し、排水系統を調査した結果、流域の7割程度が由良下水路に流入していることや、下水路の断面の状況が分かった。 			期 待 さ れ る 効 果	地域の浸水被害の軽減と市民生活の安心安全の向上					
	【みやづビジョン2011以外の計画】									
	年度策定								計 画 期 間	～
	年度策定									～
	年度策定									～
	【市民参加の状況】									
自治会による側溝清掃										
【先進性】										
担当室・係				建設室 土木係			TEL	45-1607		

(単位:千円)

事業名	公園改修事業		充実	補正予算額	財源内訳					
					国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源	
ビジョン基本施策	暮らしの基盤の整備	ビジョン重点戦略	—	28,000	26,500		1,500		0	
補正理由	宮津市民球場等の改修を行うため。 (国の「地域活性化・効果実感臨時交付金(がんばる地域交付金)」の活用)			(参考)補正後予算額	国	地域活性化・効果実感臨時交付金		26,500		
				29,800	市債	過疎対策事業債		1,500		
目的目標	都市公園施設の利便性、快適性の向上と来場者の安全性を確保し、社会スポーツの振興を図る。			背景経緯	平成27年度高校野球予選大会(開催予定)					
事業概要	<p>■ 宮津市民球場等改修 17,300千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 市民球場内野部の不陸整正 <ul style="list-style-type: none"> ・ 不陸整正 (A=約3,500㎡) ○ 観覧席手すり改修 <ul style="list-style-type: none"> ・ 鉄製手すり改修 (市民グラウンド分含む) <p>■ 滝上公園便所等改修 10,700千円</p> <p>滝上公園の便所を水洗化するとともに、休憩所を併設する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 滝上公園便所等の改修 <ul style="list-style-type: none"> ・ 木造平屋建 <p>(参考)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 宮津市民球場 <ul style="list-style-type: none"> S53 市民球場完成 H11 内野部改修(不陸整正) ○ 滝上公園 <ul style="list-style-type: none"> S54 便所(弓道場横)設置 S58 便所(グラウンド内)設置 			期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 改修による施設機能の確保 ・ 利用者の安心・安全の確保 					
					【みやづビジョン2011以外の計画】					
					年度策定		計画期間	～		
					年度策定		計画期間	～		
					年度策定		計画期間	～		
					【市民参加の状況】					
				【先進性】						
				担当室・係	建設室 まち景観係			TEL	45-1630	

